

令和3年度(第51回)

高松宮妃癌研究基金学術賞候補者推薦要項

- 1. 候補対象** 日本人研究者が日本で行った研究で、がんに関する研究上の業績が特に顕著な研究者。
- 2. 学術賞** 本賞:盾 副賞:500万円 受賞は原則として2件とする。
- 3. 候補者推薦の方法** 候補者の推薦は、原則として日本癌学会評議員によるものとする。推薦は所定の推薦用紙に必要な事項を記入の上、候補者の主要な論文(5篇以内)を2セット添えて当財団宛に送付する。推薦書は当財団ホームページからダウンロードできる。所定の書式(2頁)に収まらない場合は、必要項目の欄を広げて使用するか、別紙を添付すること。但し追加は2枚までとする。(合計4頁以内)
- 4. 推薦受付期間** 令和3年6月1日(火)～7月31日(土)(**必着**)
郵送のみ受付、メール送付は不可とする。
- 5. 選考方法** 学術賞受賞者は下記委員からなる学術委員会において選考し、理事会において承認の上決定される。

学 術 委 員

委員長	上田 龍三	愛知医科大学教授 名古屋市立大学名誉教授
副委員長	垣添 忠生	(公財)日本対がん協会会長 国立がん研究センター名誉総長
委員	今井 浩三	北海道大学遺伝子病制御研究所客員教授 元札幌医科大学学長
	佐谷 秀行	慶應義塾大学先端医科学研究所教授
	澁谷 正史	上武大学学長、東京大学名誉教授
	津田 洋幸	名古屋市立大学特任教授
	中釜 齊	国立がん研究センター理事長
	村上 善則	東京大学医科学研究所教授 東京大学ゲノム医科学研究機構機構長
	森 正樹	東海大学医学部長 大阪大学名誉教授、九州大学名誉教授
	若林 敬二	静岡県立大学特任教授

(五十音順、敬称略)

6. 選考結果の通知 採否に関らず、選考結果は令和3年12月下旬に推薦者宛通知する。
7. 学術賞の贈呈 令和4年2月22日(火)(予定)、都内ホテルにおいて贈呈式を開催し(当財団総裁常陸宮殿下ご臨席予定)、受賞者本人に盾と副賞の目録を贈呈する。なお、当財団規程により受賞者本人と配偶者の旅費を支弁する。
新型コロナウイルス感染拡大等不測の事態が生じた場合には、贈呈式の開催を中止する場合がある。
- (注) a. 共同受賞の場合には、副賞は人数に応じて均等に分割して贈呈する。
b. 当財団の理事、監事、評議員及び学術委員は候補者の対象に
なれない。
c. 提出された書類一式は返却しない。
8. 個人情報の取扱いに関して
- (1) 当財団が、応募書類から得た応募者の個人情報、受賞者の選考、審査、本人への通知など、選考業務に限定して使用する。
- (2) 受賞者の氏名、所属、研究業績、プロフィールは、当財団機関誌及びホームページで公開(写真を含む)するほか、内閣府へ報告する。また、学術賞贈呈式の写真(配偶者を含む)を当財団機関誌及びホームページに掲載する。

推薦書提出先 公益財団法人 高松宮妃癌研究基金 (担当 加藤)
〒108-0074 東京都港区高輪1丁目14-15-102
電話 (03)3441-0111
FAX (03)3441-0112
メールアドレス: info@ptcrf.or.jp
<http://www.ptcrf.or.jp>